

## 事業完了報告書（大阪市教育委員会）

### 調査研究期間等

調査研究期間	令和5年5月31日 ～ 令和6年3月15日
調査研究事項	<p>≪委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究≫</p> <p>I. 教育課程、教育環境整備に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の実態に応じた教育内容の充実と効果的な指導についての研究を行う。</li> <li>・より多くの夜間中学入学希望者に対して教育を受ける機会の提供の拡充を目的として、義務教育未修了者・入学希望既卒者・外国籍の者等に対する学習活動の工夫改善と実態把握に取り組む。</li> <li>・教育を受ける機会の提供拡充の工夫について、これまで先進的に取り組んできた本市の状況を積極的に発信するとともに、他都市との情報交換を推進する。</li> <li>・近畿夜間中学校生徒会連合会及び全国夜間中学校研究大会を通じて、他地域との交流をすすめて取組の充実を図る。</li> <li>・研修会等に参加し協議することにより、大阪市の取組を他都市に伝えるとともに、他都市の先進的な取組を新たに得ることで、教職員の資質を向上させる。</li> <li>・専門スタッフ（日本語指導）を活用した教育活動の在り方について、他都市からの協力を得ながら研究する。</li> </ul>
調査研究のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では、四つの夜間学級を設置し、在籍者数は近年減少傾向である。一方で、義務教育未修了者に加えて入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。こうした、年齢や国籍、生活習慣が異なる生徒への対応は難しい部分もあり、生徒一人一人に寄り添った学習指導が求められるところである。また、小学校未就学の者から中学を卒業した既卒者まで在籍するという現状において、一人一人の習熟の差は大変大きく、通学の目的も中学校教育の履修のみならず、高等学校受験など多様である。</li> <li>・中学校夜間学級において教育を受ける機会の提供拡充をより一層推進するために、生徒一人一人の実態に応じた教育内容の充実と効果的な指導を行うことが必要であり、そのような指導の向上を図るための調査研究を行うとともに、その成果を積極的に広報する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、さまざまな生徒への教育を受ける機会の提供拡充に資するため、中学校夜間学級について広く他府県の情報収集及び情報提供を行う等、調査研究を推進する。</li> </ul>
調査研究の成果	<p>I 教育課程に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒文集の作成について、1年間の学級活動の柱として、年度当初より取り組んだ。文集指導を通して、生徒理解を深めながら、生徒の日本語運用能力の育成を図ることができた。また、文集作成を通して、生徒が入学前の自身の姿を振り返り、共有することで、自己肯定感の醸成につながった。各校で作成した文集を、学校協議会や昼間の学校、地域等に配付することにより、夜間学級の広報に努めたが、一人でも多くの方の就学機会の提供できるよう引続き周知に係る広報活動の工夫、改善が課題である。</li> <li>・2023年度近畿夜間中学校生徒会連合会新入生交流会、第50回近畿夜間中学校連合運動会及び2023年度近畿夜間中学校連合作品展が実施され、近畿圏内の学校との交流を含めた連携ができた。また、第69回全国夜間中学校研究大会では、実行委員会等事務局との連携を通じ、取組の充実を図ることができ、その資料を活用し他都市の情報収集に努めた。その成果として他都市の先進的な取組を比較ができ、授業の充実を図ることができた。</li> <li>・校外の研修会等にはオンラインを併用して参加するとともに、研究授業、教材作成や日本語指導に係る意見交換等については校内研修を実施することができた。その結果、教育活動のあり方について、他都市の情報を参考に、本市や市内各校において研究を進めることができた。</li> <li>・他都市との情報交換については、大阪府内の学校と積極的に情報交換を行い、それぞれの課題や教育実践の交流ができた。</li> <li>・校外学習を実施することができ、学齢期に十分な教育を受けることができなかった生徒にとって、校内の教育活動では体験できないことを学び、非常に貴重な機会となった。</li> </ul>